悲しみの雪女と呪いの指輪 2

雪乃さん…!?
どうして…ここに…
ズルッ
ピクッ

人付き合いが苦手な

未亡人の雪女さんと呪いの指輪

2

うわあぁ

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ…

っ……!?

ここは…？

コンコン

目が覚めましたか

!!

随分うなされてましたが

悪い夢でも見ましたか？

夢!?
いやそんな
はずは……

あなた自分の
部屋で倒れていた
らしくてね

あと少し
発見が遅かったら
危ないところ
でしたよ

えっ…

喰われかけて
たんです

それに…

ひとまず
この鏡を
見てください

!?

俺が…
映ってない…!?

先生っ！これは一体…

ひっぱらないでください

呪いですよその指輪のね…

何だってこんなもの…

あなたは今ソレに命を吸われ続けているんです

存在が薄れて鏡に映らない程に危険な状況です

指輪を使う代償が命と引き換えなんて…

ギュッ

まさか俺はこのまま…助からない…とか

正直なところ医学的にはお手上げですまぁでも…

運が良かったですねちょうどその場に彼女がいて…

う…ん

！

あっおっおはっ…おはようございます…

一晩中指輪を凍らせてくれたんですよ
どうやら冷気に弱いみたいですね
活動が緩やかになっている…
彼女それはもう心配されて――…
あの！ちょっと…
あれ？違いましたっけ？
…
そうですけど…ちっ違います！
今それを言わなくても…
…良かったです
その…目覚めないかと…
あっ…すみません ご迷惑を…
ペコッ
いっいえ
当然の事をしたまでなのでお気になさらず
あれは夢なんかじゃない
確かにあの時雪乃さんは俺を……
そういえばどうして俺の部屋に…？
えっ

…それが私もよくわからないんです
気づいたら目の前に管理人さんが倒れていて
指のそれからとても禍々しい気配がしたので思わず凍らせてしまいました…
すみませんはっきりと覚えてなくて
……

俺を襲おうとした拍子に指輪が壊れて…催眠が解けた…のか？
…そもそもなぜ俺を襲ったんだ？根本的に…何か…違うような…
ビクッ
管理人さん

それ…

一体何なのですか…？

どこか見覚えがあるような…

…っ

先生これ手術で取れませんか？指を切るとか…

えっ!?

無理ですね手術で取る取らないの問題じゃないです

呪物やまじないは医者の専門外でしてお祓いとかの領分になるんですよ

昔はよく巫女さんにお願いしたもんですが

昔に比べてうんと数も減ったしなぁ

うーん

…あのそれなら

僕の知り合いに一人います…

ザッ

少しずつ手の感覚が無くなってきてる…

ゆっくり指輪が浸食しているのが分かる

ハァ

ハァ

ハァ

ハァ

ハァ

俺の体…あとどのくらいもつんだろう

ザッザッ

すっ…すみません…っ

はあっ

少し待ってください…

あっ!?

は〜〜ッ

だっ大丈夫ですか？

は〜〜ッ

…はい…なっなんとか…

は〜

ちょっと…きゅっ休憩しても…いいですか…

は〜

ついさっきも休憩したような…

いいですよ

…疲れると甘いものが欲しくなりますね…

はぁ～…

雪乃さんって甘いもの好きですよねシュークリームとか

休日とかはお友達と一緒にそういうお店巡りするんですか？

えっと…その…一緒に行くような友達も…いませんし…

休日は家で読書とかしてます…

初めての所だとシミュレーションしてからじゃないと

ゴニョ

なかなかに勇気が必要で…

ゴニョ

それにお店で浮いちゃったらどうしようとか…

ゴニョ

…ッ

私みたいなのが一人で行っても良いものなのかと…

ゴニョ

それならっ！

…僕と一緒に行きませんか？

ビクッ

えっ!? あの…

オロ オロ

この間 雪乃さんが好きそうなお店見つけたんです

きっと気に入るんじゃないかな…って

それに二人なら入りやすいですし

その…えっと…

そんな急に言われても…

え～～と…

！
それより指！
急いだ方が良いんじゃ
ないですか!?

あっ
そうですね
すみません急に…

僕一人の問題なのに
わざわざこんな山奥まで
付き添ってくれて

ありがとう
ございます

私が言うのも
なんですが付きそって
くれそうなお相手も
いなそうですし

スン…

かわいそうだから
仕方なく
付いて来た
だけです！

変な勘違い
しないで下さい
別に他意は
ありませんから

そうだとしても
嬉しかったです

！

恥ずかしい話ですが
正直一人じゃ
怖かったので…
雪乃さんが
一緒にいてくれて
すごく安心してます

…っ

キュッ

ジャリ…

ついた…

はー

はー

はー

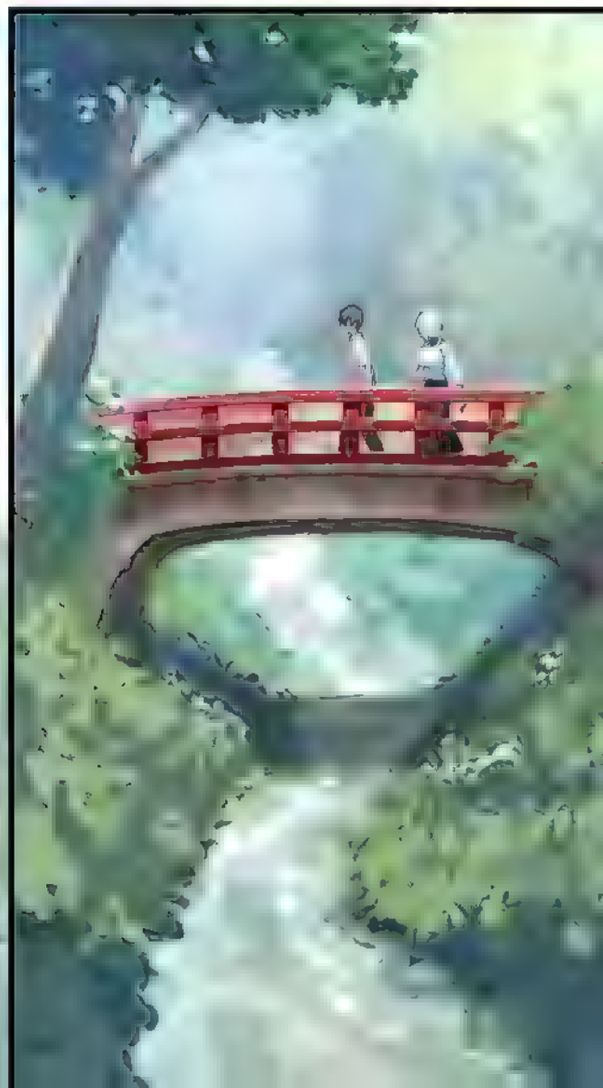
お、大きいですね～…

はあっ

空気もなんだか…澄んでる…ような

はあっ

はあっ



あれは…？

それは灯籠流しです

ジャリッ

死者を弔うためのものですがここのは特殊でして…

いわゆる縁切りや想いの供養なんかにも使うんです

とても尊い神様のいる滝もお祀りしているので

何かあるならお願いしてみるのも良いかもしれませんね

お待ちしておりました

え…

大きくなったね

鬼…!?

断果教則
あらためまして…
鬼龍院(きりゅういん) 楓(かえで)と申します
かえでと呼んで下さいね
ささっ
お茶でもどうぞ
ここ遠かったでしょ？
辺鄙(へんぴ)な所だからお客様が来なくて暇してたのよ
こえっ
すみません
鬼龍院ってもしかしてあの？
鬼
妖怪の中でも強い
妖力と怪力を持つ種族
鬼龍院家は鬼の中でも
特に強い霊力をもち
その力は代々女性のみ
受け継がれる
故にこの一族は
祭典の奉行や神楽
除霊や厄払いを
生業としているものが多い
楓さんは千里眼の
力があって
何でも透視できる
そうですよ
何でも…
そんなに凄い方
なんですね…
ゴクリ…

てっきり さとる君一人で来るかと思ってたんだけど こんな綺麗な奥さんがいたんですね

あっちっちがっ

ふふっ 冗談ですよ

カーッ

さとる君は家族同然の 私にとっても大切な存在なんです

ペコッ

助けて頂いてありがとうございます

小さい頃はすごく泣き虫で「お姉ちゃん～」ってずっと付いて来て可愛かったんですよ～

それが今は全然連絡もくれなくなっちゃって…

も〜っ
なんで今その話するんだよ！
ええ〜？いいじゃない
結婚する！って言ってくれた事もあったわね〜
ほら私達(鬼族)って初めての相手と一生添い遂げる風習があるじゃない？
私ず〜っと待ってるんだから
そんなんだからいつまでも独り身なんだろ！
さとる君には言われたくないなぁ
……
あのぉ…
管理人さん…高橋さんとはどういった関係なんでしょうか？
！
どういう関係だと思います？
え…
ウフフ ただの幼馴染ですよ
私の方がお姉さんだったのでよくお世話してたんです〜

さてそろそろ本題に入りましょうか

見せて頂けますか？

うう
うん…

パサ…

…厄介な憑き方ですね
普通の方法では祓えないかもしれません

悪いものなのは間違いないのですが…

ただの呪物では無い何か…

……

じぃ…っ

この指輪から感じる
激しい憎しみと怒り…
そして嫉妬？

付喪神と似てる様で
また違う感じ…

…これが呪物という
ものなのかしら

まるで生き物の
ような…

…それに

魅了（チャーム）に似た
力を感じますね…

何か心当たり
ありませんか？

ビクッ

いっいや

妖怪だけに効く
催眠の指輪を
雪乃さんに使ってました～
なんて言えないよ…！

相変わらず
勘が良いな…

さとる君昔から
変なのに好かれる
体質だったけど

これはどこで
手に入れたの？

まさか川で
拾ったとかじゃ
ないよね？

えっとその…

…あの
本当に助かるん
でしょうか？

このまま
死んじゃう
なんてことは…

…放っておけば
そうなります

キリッ

でもそうはさせません！
私が今夜中に
解決してみせます！

…とはいえ
それなりの
準備が必要です

恐らく一筋縄では
いかないでしょう

まずは裏の滝で
身を清めて
きてください

その後 社殿に
案内します

わ…
わかった

どうしよう
気まずい…!!

…

パタンッ

えっと…雪乃さんでしたよね？

雪乃深冬です…

あなたは客間へどうぞ

あの私も一緒に…

お気持ちは分かりますが心配いりませんよ

遠い所から来てお疲れでしょうし温泉にでも入ってお待ちください

ここには源泉があるんですよ

…ありがとうございます

…まだ怖いですか？

えっと…

さす…

最初は不安でしたけど

高橋さんも助かるみたいですし…

その事じゃないですよ

え…？

大事に大事に抱えている何か――…

手放すのをためらっているようですが

もう…良いんじゃないんですか？

私はそんな…

ぎゅっ

それとももう大事な物は

作らないつもりなんでしょうか？

それじゃあ始めるけど…大丈夫？
顔色が悪いですねぇ
…やっぱちょっと緊張するよ…

呪いとかの悪いものって人の弱みに付け込んで来るから
心に隙が無ければ大丈夫よ
鏡に映らなくなったのも今さとる君があの世とこの世の狭間にいるからだと思うわ
あれは何かから妖気を得て動いている
何が元凶かは分からないけどその繋がりを絶てば助かるはず…

本当は呪いの解呪なんかしたことない…なんて恥ずかしくて今更言えない…！

呪物なんて昔話でしか聞いたことないもんなんなら初めて見たわよ…！

でも大丈夫！今日のために秘密兵器を用意したもの！

良い所を見せるチャンスだわ！

ふ〜〜っ

うふふふ…今日の私ってば上手くいきすぎて怖いくらいね

まぁあんな美人をさとる君が連れて来たのは少し動揺したけど

…雪乃さん綺麗な方でしたねどういった関係なんですか？

好きなの？

えっなんで急に!?

なんでって…ほ、ほら！

雪女はサキュバスの次に性欲が強いから心配してるのよ

！

いや俺と雪乃さんはそんな関係じゃ…むしろ嫌われてると思うけど…

ふ〜〜ん？あっちはまんざらでもなさそうでしたけど？

っていうか楓姉さんも綺麗になったと思うよ
久々に会ってびっくりした

…も？
ムッ

お祓いの謝礼はどうしましょうか？高いですよ～
うえっ…幼馴染のよしみでどうにかならない？

そ…そうですね
ええと…この社って私一人で管理してて人手不足なの
だから…その後の経過観察も含めて……
もじもじ

私とここで住み込みで働くなんて…
どっ…どうでしょうか？
言っちゃった…！

痛っ
あっ
大変！大丈夫!?

まってまって！え～っととりあえずそこに手を出して！
私ったらこんな時に何言ってるの！

!?
これで祓います
…
ちょちょっ
ちょっと待って
もっと霊的な
何かで祓うんじゃないの!?
物理じゃん!!
鬼の力で
叩いたら俺の手が
砕けるって!!
ガシィッ
ひぃ
ほらみなさい！
こんなに震えて…
あなたを通して
邪悪なものが恐怖を
感じているようね！
それは
俺の恐怖だと
思うけど!?
ぐぐぐ…
鬼龍院家に伝わる
この秘宝――…
解呪の鎚で
忌まわしき呪いから
解放してあげます！
さぁこの者から
出ていきなさい！

ズッ
ズッ

お……
終わった……
ビリ
ビリ
ビリ
ビリ
アアアン…
怖くて見れない…っ

え…!?
嘘…っ
なにこれ!?
キィィィンッ

ガンッ
…楓姉さん？
ユラ…
どうしたの？
ア…
もう指輪は大丈夫…
えっ
でもまだ体内に邪氣が残っていますね…
それを全部吐き出さないと
すぽっ
それは…
どうやって…？
ちゅん。

ボロンッ
わっ!!
えっ!?ちょっと!!何してるの!?
ガッ
?
ほら…こんなに邪氣が溜まっておちんちんがギンギンになっちゃってる
悪い気は全部搾り取らないと…♥
さすさす
ビクッ
指輪の副作用で辛かったでしょ?
安心して…私に任せて…♥
ムチュッ
プ
プ
プ
う…わ…
あっ!?

楓姉さんが俺のチンコしゃぶって…っ!?
一気に奥まで…食べられる…っ
おぉっ！
柔らかい唇と舌が…ぴったり吸い付いて…
気持ちいい…ッ
いっイク…!!

んんっ!?
ぐっ
ビュクッ
ぎゅぅ
ぐっ!
ビュルルッ
…
ビュッ
ビュッ
ぁぁ
ぁぁ
ぁぁ
どうですか
すっきり
しましたか？
私のお口…
気持ちよかった
でしょうか？
は…
はっ
はい…い…
これが
さとる君の味…
変な味…
だけど結構好きかも…♥

…あれ？

どういう事？
か、体が勝手に…

もしかして私――…
操られてる!?

さぁ一滴残らず
飲んでください
巫女の愛液には
清めの効果があります

ほっ本当に
良いの!?

あの指輪
こんな力が
あるなんて…！

こんなのただの
変態じゃない！

どうぞ
遠慮なさらず

あっ…やだっ
待ってだめ…
だめぇ…っ！

ちゅぱちゅぱるっ
んっんっ
ビクッ
あっ!?
ぐぷっ
ぐぷっ
おなかの奥…ジンジンして力っ入らな…
はっ
ぐんぐん
ぐんぐん
ぐんぐん

だめ…っ
も…っ
はぁ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐっ
ぐっ
ぐっ

…！
ピクッ
動く…
どうしてこんな事に…
うう…
さんざん偉そうにしておいて
実は操られてましたなんて言えないし
でもこのままだと変態だと思われちゃう
それに何だか体が変にうずいて…
…っ
はぁ、
はぁ…
あの指輪絶対に許さないんだから…

どうしよう…
もう後にも引けないし
これが儀式ってことで
押し通すしか――

楓姉さん

挿れたいです…っ

へ？

セックス
したいです…っ

…えっ!?

だっ
ダメだよ!!
鬼とのセックス
って意味
分かってるの!?

嬉しいけど
そういうのは
ちゃんと
結婚してから――…

ごめん…っ
もう我慢
できない…！

待って
私まだ…っ

ずぶっ
あ…熱い……♥
ギチィッ…
血が…
ごごめん痛かった!?
熱くてビクビクしたモノが膣内(ナカ)に…♥
これがさとる君のおちんちん…♥
平気…だけど責任…取ってよね
はー
はー
あのときの結婚しようって言葉…本気だったんだ！嬉しい♥

ズポッ
ズポッ
ズポッ
待ってやめっ♥
あっ
あっ
あッ
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ
くっ膣内熱っっ…！
ぐちゅんっ
じゅぷっ
じゅぷっ
ずちゅんっ
キツいのにぬるぬるで…っ気持ちよすぎて…溶けそう…っ！
あっ…♥だめぇ…♥
おちんちんがズボズボって繋がってる…♥

はじめてなのに痛くない
これって相性が良いってことだよね？
子宮(おく)まで届いて…っ
気持ちいいっ
ごめん俺我慢出来なくて…
だっ大丈夫だから…♥

あぁ
あぁ
ぱぽっ
ぱぽっ
ぱぽっ
ぱぽっ
ぱぽっ
ぱぽっ
あぁ
あぁ
あぁ
あぁん
あぁ
あぁ
さっきと全然違う……っ♥
どうしよう えっちな声 止まらない……っ
ぱぽっ
ぱぽっ
ぱぽっ
ぱぽっ
ぱぽっ
ぱぽっ
ぱぽっ
楓姉さんのお尻…… 引き締まってるのに 柔らかくて すごくエロいよ……ッ

パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
あっ
あっ
あっ
ぐぐっ
さとる君っ♥
だめ…そこっ♥
深いのだめなの♥
楓姉さん…
楓姉さんっ
…
パチュッ
パチュッ
またおちんちん
おっきくなった…♥
はあ…あ…
はあ…あ…
さとる君も
私で気持ちよく
なってくれてるんだ…♥
こんなに必死になって
私の事
求めてくれる…！
あ…
嬉しい…！
ん…
ぱ
ぱ
ぱ

私はずっと良いお姉さんを演じていた…
ぢゅる
うあ…
はぁ
ボソ…好き
でも本当は私…
お姉さんじゃなくて…お嫁さんになりたかったんだ…♥
パッ
ぱちゅ
ぐちゅ
もっと繋がっていたい…っ♥
今日は…危ない日だから…っ膣内に射精したら…だめっ…だからね♥
はぁ
そんなっ脚絡められたら抜けな…っ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
腰打ち付けるのやめっ、い…
パッ
パッ
パッ
パッ

ビュビュッ
ビュッ
ビュッ

これっこれ好きっ♥
奥まで…さとる君のがみっちり擦れて…っ♥
はぁっ♥
んっ
きもちっ…いいっ♥
楓姉さん…何回するの…!?
これ以上はもっもう…!
何を言ってるんですか？おちんちんが勃たなくなるまでですよ？
しっ締めなっいで…っ

楓姉さん…鬼の体力本当にやばい…！
好きっ♥
好きっ♥
ちょっ、やっ…休ませてっ…
またっで、射精ちゃうから…っ
このままじゃ根こそぎ搾り取られる…！
楓姉さ…んっ激しい…！動かないで！
私だけじゃなくてさとる君も…
もっと…もっと気持ちよくしてあげるね♥

んっ♥
んんーー
ふっ♥
はぁ♥
んっ♥
んっ♥
んむ♥
れる
んーー
んむっ♥
はむっ♥
舌を絡めるたびに私のなかでビクビクってしてる♥
お口のナカ気持ちいい？キス…好きなんだね♥いっぱいしよう♥
あっ…楓姉…んっはぁッ俺もぅ…っ!!
我慢しなくていいんだよ♥全部っ全部中に出して…っ

びくびくっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

ぐっ
ぐぐ…
おぉぉ?…
ぬぽっ
あっ
ちょぉっ
ちょぉっ
ちょぉっ
ちょぉっ
ちょぉっ
精子って…こんなにいっぱい出るんだ…♥
私…ちゃんと気持ちよくしてあげれたのかな…♥
ドロォ
ビクッ
ビクッ
奥にたくさん出されちゃったけど後悔はしていない
私…やっぱりさとる君の事が大好き
結婚…しなきゃ…♥

ぐったり…

ぽ

ぽ

あっ

ポロッ

……！

ふー…

…

楓姉さん!!

どっ どうしたの？

パァァ

見てこれ ほらっ 本当に取れたよ ありがとう!!

あっ…

わっ私の言った通りだったでしょ!?

うそでしょ 本当に取れちゃった…

…どういう事？

シュウウ…

確かにさっきまで妖気を感じていたのに突然消えたというかいなくなった感じ…

指輪を割った時感じた禍々しい氣…前にどこかで――

この指輪もしかして…！

ふしゅ…

ぎゅっ

楓姉さん本当にありがとうございました!!

最初疑ってたけどやっぱ凄いよ！

あ…えと

セックスで除霊とかありえないし祓うどころか取り憑かれておかしくなったのかと思ったけど…

ギクッ

とにかくもう大丈夫だから！今日はこれでおしまいっ

お部屋っ用意してあるからもう行っていいよ！

あと儀式の内容は口外無用だからね！

あっ…

てくてくてくて

未亡人の雪女さんと呪いの指輪 2

指輪も取れたし楓姉さんには感謝だな
方法はびっくりしたけど
あっ…
どっ…どうでした？
その…指輪は…
スッ
雪乃さん浴衣着てる！
かわいい！
！
ドキ
あの…
あっすみませんボーっとしてて

それで指輪なんですけど…
もう大丈夫みたいです
一応様子は見ないとですけど…
ほっ…
そうですか…
鬼の…本物の巫女さんって凄いですね
除霊ってどんな感じだったんですか？
パタン
ギクッ
えっ…と僕も気が付いたら終わってて内容までは…
そのご心配おかけしました…
ペコッ
しんっ…べっ別に心配してませんっ
私はだた…!!〜っ!!
……

初めて会った時以来ですよねその…

雪乃さんとこうやってゆっくりお話するのは…

そう…ですね

恥ずかしながら怪我の手当までして頂いて…

今回もですけど僕雪乃さんに助けて貰ってばかりですね

そんな事ありません私の方こそ重い荷物を運んでいただいて…

ええと…あの時は前に進まないと…って

色々と処分はしてたのですが気持ちの整理がついてなくて…

少しでも思い出が無くなれば前に進めると思っていたんですが…

やっぱりどこか怖くて…

あのぉすみませんでした氷漬けにしたり子供みたいな態度とったりして…

しょぼ…

色々と気にかけて頂いて本当は嬉しかったんです…

でも素直になれなくて…

雪乃さん…

でも俺は指輪を使って雪乃さんにひどいことを…

すみません…僕は…雪乃さんが思っているような人間じゃないです…

スッ

！

……っ

ぐっ

ま、待ってください!!

最後に一つだけ宜しいでしょうか…

わ…わたし…

家賃も払わず色々迷惑かけてばっかりで…

ビキ

ビキ

ビキ

ビキ

それなのにこんな私に優しくしてくれた管理人さんにどうしても言わなくちゃいけないことがあって…

私…

…す…

…す

すみません!!

私が急に付いて来たせいでお部屋が一緒に…

お布団も一組しか…!!

あっ!?

あ…そうなんですねそれはそれは…

すみませんすみませんっ

楓姉さん絶対忘れてたな

?

大丈夫ですよ

僕こっちのすみで寝るので

雪乃さん布団使ってください

あ…

…そういえば

ここ温泉があるみたいで傷によく効くらしいですよ

あぁ僕も昔遊びに来た時よく入ってました

雪乃さん入られましたか？

はい

私好みのすごくいいお湯でしたとても気持ち良かったです

湯加減大丈夫でした？

はいのぼせない程度に浸かってましたので

じゃあ僕も入ってこようかな行ってきます

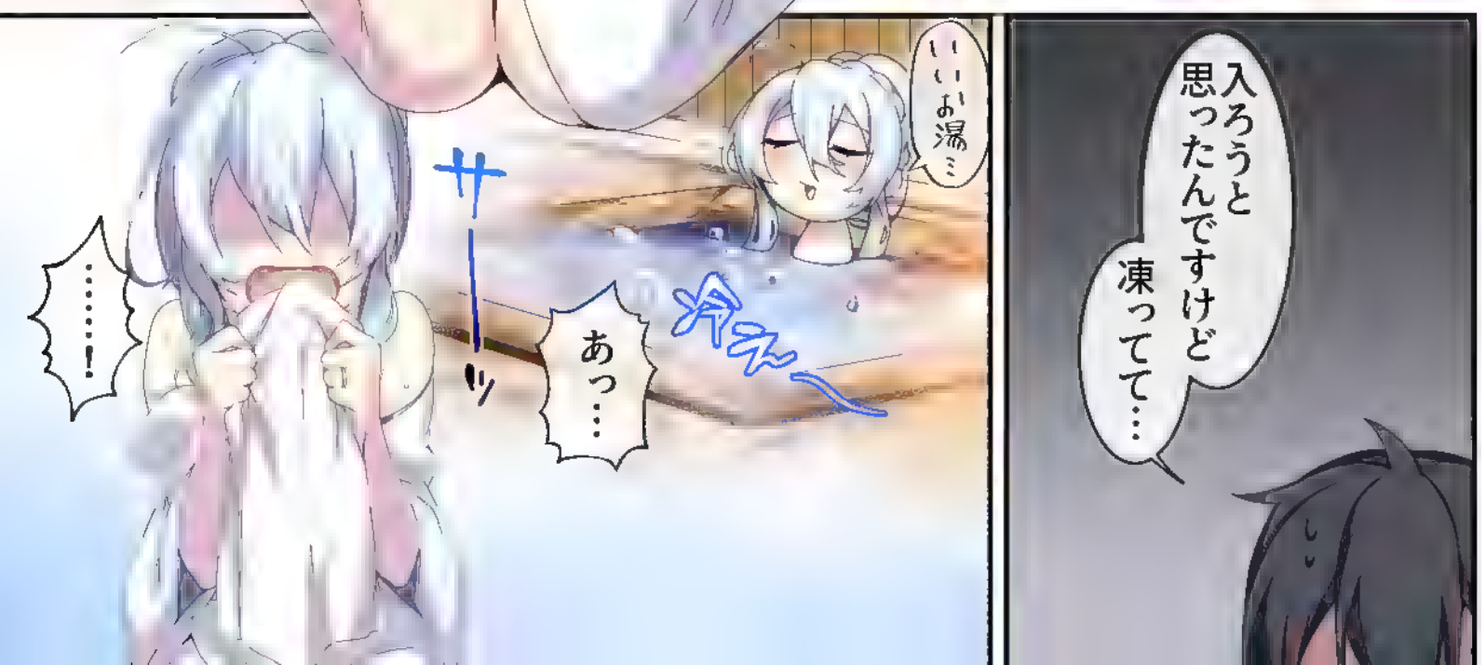
…

ぷしゅぅ

ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

安心したら急にムラムラが…
昨日から我慢してたからもう限界
早く終わらせなくちゃ…
もぞ
んっ
すーはー
すーはー
ッ!!
ビクッ
ぶるっ…
んんっ
じゅぷ
じゅぷ
ちゅぷっ
みしっ
ギシっ
あっ

あ…なっ
ワナ
ワナ
ワナ
なん…ッ
カーッ
ななんでいるんですか!?
お風呂は…!?
ぎゅっ
ビッ



その…
それって
もしかして
僕の服ですか？

ボッ

!!
においなんて
嗅いでませんから！

ぶんっ
ぶんっ
ぶんっ

あ…

たまたま
掴んだだけで…！

すみません僕
気が利かなくて

しばらく外に
いますんで…

待ってください

ちがっ
これはその…っ

雪女にとって
生理現象みたいな
もので決してやましい
ものではなくて

定期的に
しないと…

ペラ
ペラ
ペラ
ペラ

くぅ…っ

っ!!

あっ
ちょっ

ぐっ

待っ…

ゴッ

あっ!?

おわっ

だっ大丈夫ですか!?

う～ん

ぱら…

むちっ

じちゅっ

ごめんなさい

私…

ぎゅっ…

凄く綺麗です
ザッ
ドキ
ドキ
ドキ
あ…
っ…

嫌だったら言ってください
あっ
すっ
待っ…
ちゅ…
くぷ…
ぬぷ
ちゅぷ
んっ
ぷぷ

はぁっ
はぁ
す…すごく濡れてますよ…
ん…っ やぁ…っ♥
はずかしいから…言わないでください
あっ…だめぇ…そこっ…
す…すみません つい…

雪乃さん…
んっ
続き…したいんですけど
ギュ…
ドキッ
いいですか…？
スッスッ
……
…あまり見ないでください…
ドキ
ドキ
ドキ
ガチャ
大したことないですから…
ぱさ…
ぱさ

その…
ど、どうぞ…
ぱぁ…
ぱぁ
ぱぁ
ぱぁ
ぱぁ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐ…
あっ
ボンッ

ぶるんっ
ぶるんっ
ぐちゅんっ
あぁ
あっ
あぁ
あっ
あ♥
私もっ♥
ぶるんっ
きもちよくてっ♥
ぶっ!?
ナカ…締ま…っ
ぎゅーっ
ぎゅっぎゅっ
はぁっ
はぁっ
はっ
はぁ
ぱっぱっ
ぱっぱっ
ぬぐぐ
ぶちゅっ
雪乃さんの膣内…っ
トロトロで気持ちいいです…っ!
んっ♥
ビクッ
ビクッ
ずぶっ
ずぶっ
ずぶっ
あっ
あぁ
はぁ
あっ

あんっ
はっ
あ…
はっ
はっ…あ
あ
あ
ぎゅっ
あ
あっ♥
はぁっ♥
はっ
ぱんっ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぐちゃぐちゃっ
パン
パン
パン
パン
ぎゅ〜〜〜
ぶるっ
あ
あ
はぁ
はぁ
あの雪乃さんが
俺のことを
受け入れてくれてる
もっと
感じさせたいのに…
ぬるぬるが
絡みついてきて
気を抜いたらイキそう…
たっ
高橋さん…
…もっと
もっとぐちゃぐちゃに
突いて下さい…♥

あ♥
ぶるんっ
はぁ…はぁ…
あぁ
あぁ
あぁ
あぁ
たっ…高橋さんっがズポズポするから、らぁっ…♥
あぁ
ズポッ
ズポッ
ズポッ
雪乃さんさっきから凄いですよ
ぶるんっ
ぶるんっ
ぶるんっ

気持ちよさそうに子宮が先っぽに吸い付いてきてますよ
だめですそこっおく…っ
そんな突かれたら…っ♥
あっだっ♥
んんっ
あっ
ビクッ

あ、あ
あ
あっ
ぱちゅっ
ぱんっ
ぱんっ
あ
あ
あ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぱんっ
さっきまで他人同然だったのに…
こんなに…セックスしちゃってる…っ
あ
あ
あ
ドキドキする…♥
むっ
私達まるで恋人みたいで
ぐちゅっ
ぷちゅぷちゅ
あ
あ

この体勢だと繋がってるとこ丸見えで…
興奮…っしますよ
こんな私でも…女として見てくれてるんだ…♥
いっ…言わな…いでくださ…っ♥
雪乃さんッ
あっ
こんなに…っ気持ち…いいの初めて、です…♥
そんなに激しくされるとッ僕…すぐ出ちゃいます…ッ！
ごめん…なさっはしたなくて…っ♥
大きいの…もっと欲しくて…っ腰っ♥我慢…んっ♥出来…なくて…っ♥
あぁ
あぁっ

あっ
もっと…ッ♥
あッ
やっ
あッ
ぐぽッ
ぐちゅ
ぐぽぐぽッ
ビクッ
ぐりぐりっ
ぐちゅっ
ずるるっ
あっ
これっ
上っ
こすれて…っ
ぎゅぎゅ
ぎゅぎゅ
ぎゅぎゅ

好きですっ
ぐぃッ
へっ
?
??
これからは一緒にいてくれませんか
ぎゅっ
ぎゅぎゅ〜〜
すっ
そっ そんなこと言われたら
はッ
ぐっ
はぁっ♥
あ
わたし…っ♥
ぎゅぅっ
…っ♥

ビリビリ
ビリビリ
ビリビリ

す…っすみませんっ
膣内に出してしまって…
…
大丈夫…です
……その
ゴクッ
ビチッ
高橋さんが良ければ
もう一回…しませんか

ミッ
ぱっ
パシャ
パ春ッ
ぐちゃっ
ぬちっ
ぬちっ
あっ
あぁ
うっ
どうですか
私のおっぱい…
苦しくない
ですか？
はっ
はひっ
ちゅぷっ
ぱっ
ぱっ
ふわふわなのに
みっちりですごい…
気持ちいっ…です…
ぱっ
ぱっ
ぱっ
ぱっ
ぱっ
でる
あっ
もっ
あっ
ビクッ
ビクッ
ぷっ
ぶるぶるぶる

たくさん…出ましたね♥
ぬと…
んっんくっ
ごくん
どくん…
あっ♥
出したばっかりなのに…さっきよりおっきい…っ♥
…雪乃さんのせいですよ
はーー
はーっ
あっあっ
あ
あ

今日は…んっ♥ずっとこのままこう…してたいです…っ♥
…っ！僕もです！
時間の許す限り体力が尽きるまで雪乃さんとセックスしていたい…！

きゃっ!?
いっ
やっ♥
恥ずかしッです…こんな格好っ
あっ
はッ
あ…っ
あ…ッ
あッ
やっ
あッ
あ…ッ
あッ
あ…ッ
ぶるっ
ぶるっ
もっと気持ちよくしてあげますから…ッ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
この体勢…っ逃げれっ…ない♥
隅々までエグられて…私…イっ…ちゃうぅ♥
あ…っ♥ま、待って♥
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
私っイった…ばかりでぇ…っ♥
あッ
あッ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ

うっ…射精そうです…っ
あぁッ
んッ
やッ
んッあぁ
ぐちゃっ
パンッ
ぐちゃっ
このままだとまた…膣内に…ッ
あっ
ぜんぶっ全部ナカに射精してっ良いですからっ
はッ
まぁっ
ぶるん
高橋さんの…精液っ…私にください…ッ
ぐちゃっ
パンッ
すみませ…んッもう…射精ます…っ
パンッ
パンッ
んっ
ぐぽッ
ナカぁ
たくさんっ
ぐぐぐッ
ごくごくッ

あぁ
あぁ
あぁ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビュビュ〜〜
ビクッ
ビクッ

んぅ…
ずっ
ぶぽ…
ぶるぶる
ぶるぶる
ぶるぶる

本当に助かったよ
お礼したいから
今度うちにおいでよ

もちろん
そのつもりよ〜

マンションには
行ったこと無かったし
お部屋とか色々
見ておかないとね

？

ゆくゆくは
私も住むわけ
ですし…

モジ
モジ
モジ
ふふふ…
くねくね
くねくね

管理のお仕事
大変だと思うけど
さとる君の管理は
私に任せて！

あっ巫女の
お仕事もあるから
ずっと一緒には
いられないかも…

でもでも？
どうしてもと
いうのなら

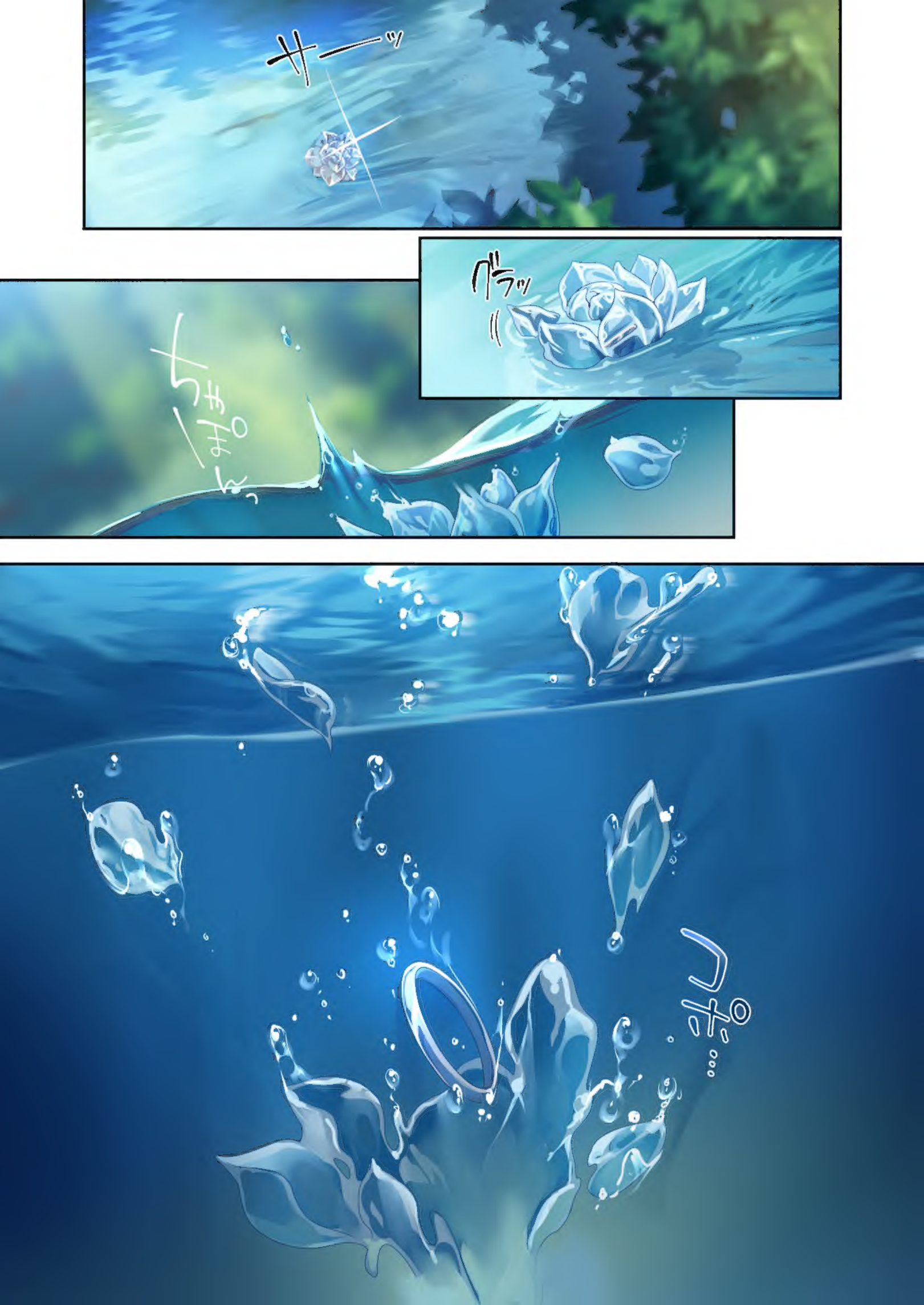
あれ？

そういえば
雪乃さんは？

キョロキョロ

あぁ 彼女なら…

ちゃぷ


ザーッ
グラッ
ちゃぽん
ぷくぷく

—後に俺は
思い知ることになる

ちょっと早く
着きすぎたな

雪乃さんと
デート
楽しみだな

ソワ
ソワ

うき

うき

あの

コッ…

落としましたよ

ぎゅっ

あ…
すみません

何だろう？
気付かなかった

だめですよぉ

大事なものは
ちゃあんと
持ってないと

ぞわっ

自分が犯したことの
代償を……